

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成 19 年 12 月 13 日

【評価実施概要】

事業所番号	3873400273		
法人名	有限会社エル・シー・エヌ		
事業所名	グループホーム 久万いこいの郷		
所在地	愛媛県上浮穴郡久万高原町入野 1 7 2 6 番地の 5 (電話) 0892-50-0037		
管理者	團上雅子		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 19 年 8 月 20 日	評価確定日	平成 19 年 12 月 17 日

【情報提供票より】 (平成 19 年 8 月 1 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 7 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	19 人	常勤 17 人, 非常勤 2 人, 常勤換算	18.6 人

(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	15,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有()円 ○ 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円 ○ 無	有りの場合 償却の有無		
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 986 円			

(3) 利用者の概要 (平成 19 年 8 月 1 日事業所記入)

利用者人数	18 名	男性 8 名	女性 10 名
要介護 1	4 名	要介護 2	5 名
要介護 3	5 名	要介護 4	3 名
要介護 5	1 名	要支援 2	0 名
年齢	平均 77.2 歳	最低 52 歳	最高 93 歳

(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	あり	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	なし	医療連携体制加算

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

自然に恵まれた環境で、立地条件に優れている。共用空間は広々としており、自然の風を取り入れ、季節感を満喫できる。近辺は車の通行がなく、散歩の際も安全である。職員は地元の住民で、年齢層もバランスよく、4名の職員が男性であり、幅広い活動や支援が可能である。外出の際は運営法人からバスの支援があり、遠出の機会を多く設けて楽しんでいる。利用者にはできる限り出番を多く与え、日々の生活の中で楽しんでもらっている。利用者同士が能力に応じて支援し合い、機能維持に繋げている。開設当初から無料で体験入居制度をとっており、入居前にホームに十分馴染むことができる。

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)

前回の外部評価では研修機会の不十分さが指摘され、職員全員で話し合い、研修の重要性を再認識し、職員の希望と能力に合わせて研修機会を十分設けるよう改善を行った。

▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)

地域密着型サービスに関する理解を深め、地域との交流・協力を有意義な方向へ向ける行く取り組みを模索している。利用者同士の不満解決に応じきれないケースがあるので、今後その改善に取り組むことにしている。災害対策に関して地域との協力が不可欠なので、実践に向けて話し合いを持っている。

▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)

本年は3回会議を開催しており、直近では7月に7名の参加者を得て開催された。スタッフの人数体制、転倒事故の有無、地域との交流について質問や意見が出され、行政からのコメント(ホーム便りの効果的な活用、地域・行政・社協・施設などへの積極的なアプローチなど)があり、ケアに活かすべく職員で話し合っている。

▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)

家族からは毎月の出納帳、状況報告書を送付した際に意見を聞いている。意見は会議の中で話し合い、ケアの改善に活かしている。ホーム内の相談窓口は設置されているが、第三者機関の相談窓口が明示されていないので、明示することが求められる。

日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)

自治会に参加し、保育園、小学校との交流を行っている。地域のイベントに参加し、また地方祭には獅子舞、御輿も立ち寄ってくれる。個人情報に細心の配慮をしたホーム便りを作成し、公共施設等にも届けてより協力関係を築くことが求められる。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目
(評価項目の構成)

I.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
- 「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム 久万いこいの郷

(ユニット名) ぐり

記入者(管理者)

氏名 団上 雅子

評価完了日

平成19年 7月 25日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 運営理念として「いこい」の文字にちなんだわかりやすい内容を掲げている。	※	地域とのつながりをより多くもてるよう留意活動中です。
			(外部評価) 開設当時から地域交流を大切に、利用者一人ひとりが安心して生活できるよう支援しているが、地域密着型サービスの役割について職員が十分理解しているとは言えない。	※	地域密着型サービスとして何が大切かについて職員全員で理解を深め、その役割を果たすための理念を作り上げていくことが求められる。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 目に留まる玄関に掲示し、日々取り組んでいる。		
			(外部評価) 地域との交流を大切にし、安心して楽しく生活が送れるよう、管理者、職員共に理念を共有し、その実践に努めている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 来客者の目に留まる場所に掲示している。		
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 外出行事（畑作り、散歩等）の時に近隣の方々と挨拶、日常会話を行えている。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地方祭、地域行事への参加。自治会にも今年度より入会し、交流を持つ方向でいる。	※	自治会との関係作り、又、今後の取り組みについて有意義なものにしていきたいと思っています。
			(外部評価) 自治会に参加し、保育園での夕涼み会や小学校での人文字作りに参加したり、また地方祭には獅子舞や御輿が立ち寄り、地域との交流を大切にしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議による話し合いの場は持っている。	※	まだGH主導の内容が議題となっているため今後は広く意見の収集・実行へと取り組むたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 月に2回のミーティングにて評価・改善に努めている。 (外部評価) 月2回の会議で、外部評価で指摘された改善点や自己評価で気付いた点を話し合い、質の向上に繋げている。自己評価は管理者が作成している。	※	自己評価は管理者、職員が協働で話し合いながら作成することが求められる。
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 実績報告及び活動報告を会毎に行っている。意見及び質問等に対して参考とし、サービスの取り組みに努めている。 (外部評価) 本年は3、5、7月に会議を開催し、7月の会議では第三者評価についても話し合いが持たれ、ケア改善に向けて忌憚のない話し合いが行われている。話し合いの内容は詳細に記録されている。地域の福祉に携わっている民生委員の出席は欠かせない。	※	地域と密に連携をとって行く上での要である民生委員の出席について検討することを期待する。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 地域ケア会議に参加し、行政及び他事業所との意見交換等を行っている。 (外部評価) 地域で開催されるケア会議に参加し、町担当者から情報を得たり、疑問点や改善点のコメントを得ている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 利用までの経緯についてミーティング等で身近に説明を受けている。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 外部研修にて修学する機会を持っている。又、ミーティングにおいてその防止について話し合っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約内容について口頭にて読み上げ、専門的な内容等については補足をし理解いただけるよう時間を掛けて行っている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 月に2回介護相談員の方が来訪しサービス内容の評価に合わせて入居者の方との日常会話を聞き役となって行っております。	※	十分な不満解決に至っていない場面もあり、ケアプランにて対応の方向性を定め実施に向けて取り組んでいる。
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月、出納帳と状況報告書を送付し、又、必要に応じて、電話連絡等を行っています。 (外部評価) 利用者の様子や健康状態、金銭管理の状況や職員の異動に関しては、毎月定期的な報告を家族に行っている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 不満や苦情は随時受け付けています。ご意見はミーティングで協議し、役立たせていただいています。 (外部評価) 利用者や家族の苦情、希望などは気軽に聞き取れる体制をとっており、ホーム内に相談窓口を設置しているが、第三者機関の相談窓口を明示していない。	※	相談窓口について、ホーム内だけでなく第三者機関についても書類に記載して家族にも説明をしておくことが求められる。
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 管理者や運営者のみでなく、本社より職員の相談役となる者が定期的に来訪している。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 余裕を持った雇用を行い、勤務の調整に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) オープン当事からのスタッフが約半数いる。又、出来るだけ職員の離職を避けるように努力し、退職時には、利用者にはダメージのないように個々に話をしている。 (外部評価) 職員の離職・異動は少なく、その際には職員がカバーし合い、利用者には精神的な不安を与えないよう努めている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 職員研修を個々の能力に応じて行っている。 (外部評価) 職員の希望と能力に応じて研修を受ける機会を設けており、職員は希望を出せば受講できる。	※	勤務の都合により回数が十分でないかも知れない。
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 地域ケア会議や、町の行う意見交換会には積極的に参加している。 (外部評価) 毎月開催される他ホームを交えた連絡協議会には積極的に参加し、町の保健福祉会、民生委員、消防署などと意見交換を行っている。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 本社の相談係り等と連携し、出来るだけストレスを軽減できるように取り組んでいる。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていることを本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 事前調査時は、本人の想いを理解できるようにじっくりと時間をかけ、話をしている。又、管理者とケアマネが必要に応じて、別々に相談に乗っている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 家族のみとの相談の機会も設けている。		
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 事前調査後、職員と協議し、必要な支援について話し合っている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 家族や本人の要望に応じて入居を行っている。又、小さな町なので職員か入居者の中に知り合いがいるケースが多い。 (外部評価) 開設当初から無料で体験入居の体制をとっており、ホームの生活に徐々に馴染みながら入所の決定を行っている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 調理や昔のおもちゃなどのレクリエーションをする場面等でもその当時の話題を提供していただいたり一緒に語り合う機会がある。 (外部評価) 利用者は各人の好みと能力に合わせて、食前、食後の手伝い、歯磨きの手伝いなどを担当し、職員は利用者のペースに合わせて入浴、外出などの支援に努め、利用者が楽しく過ごせるよう努めている。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 電話等で家族と話しをする場面、その他の悩みや体調の不具合の相談も聞いている。	※	なかなか密に連絡が取れない家族への対応を検討していく必要がある。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 面会に来ていただいた際に状況の説明を行ったり、1回/月書面にて状況報告を行っている。又、家族会への参加を促している。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 面会の制限等を行っていない。又、ご本人からの手紙やハガキを書いていただくよう努めている。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) ケアプランにも重要なポイントとして位置づけ、関係作りに努めている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) サービス終了後も家族にハガキ等を送っている。近隣の家族とは談話等を楽しんでいます。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) センター方式にてアセスメントを3ヶ月/1回行い意向等の把握に努めている。又、月/1回のミーティングにおいても近況について話し合っている。 <hr/> (外部評価) 職員は日頃の会話やケアの中で利用者一人ひとりの希望や思いを察知し、職員同士で話し合いながら利用者に接している。		
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 上記同様な形で把握に努めている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 健康チェック及び日々の個別ケース記録にて日常の生活状態を継続的に把握している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) ケアカンファレンスにて話し合いを行い、必要に応じて医療関係者からの助言等といただいている。又、家族へもケアプランの提供を行い随時追加項目等の変更も受けている。 (外部評価) 事前調査票や生活歴を検討しながら、本人の状態や思いを反映させて担当者が意見交換を行い、家族の了解を得て介護計画を作成している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 著しいADLの変化、退院時に応じたケアプランの作成に努めている。 (外部評価) 一人ひとりの生活状態を観察し、職員が話し合っ て介護計画を見直している。利用者には説明を行い、家族には電話や手紙で説明し、了解を得ている。		
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 健康チェック表及び個別のケース記録を行い、日々の状態把握とケアプラン等へ反映している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 家族等の要望により、ホームまでの来訪の送迎や、入居者個々の希望等を柔軟に取り入れ、支援を行っている。 (外部評価) ホームのバスによる外出の機会を多く設け、職員ともども楽しい日を過ごしている。また通院や家族の来訪の希望があればその都度送迎を行っている。また外出、買い物などの希望があれば、その希望に応えている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 民生委員がボランティアで来訪し、着付けを見せる等、他機関と協力できている。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 認定調査時に現状についての話し合いをする機会もあり、助言等を頂いている。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 施設としての地域との関わりについて助言を頂き自治会の参加につながった経緯がある。	※	個別的な入居者への対応について今後検討していく必要がある。
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 入居時において協力医院の紹介は行っているが、他の医療機関への利用も尊重し、家族が最終的に決められるよう配慮している。 (外部評価) ホームの協力医療機関のほか、本人の希望するかかりつけ医の診療も受けられるよう連携をとっている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 認知症についてその変化に応じて協力医院への相談を随時行っている。又、必要に応じて近隣の町の専門医への紹介をしている。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) W/1回看護師による健康管理及び、医療活用の相談を行っている。又、勤務以外の状況については連絡ノート及び電話連絡等行っている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 医療機関との連携体制が整うように努めている。	※	今までに入院した医療機関とは連携できているが、様々な医療機関との連携を確保したい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 重度化した場合については段階に応じて他施設又は他医療機関への紹介も含めて話し合いをしている。 (外部評価) 看取り介護に関する指針を作成し、学習もしているが、重度化した利用者がある場合は、他の医療機関や施設の紹介をしている。		
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) GHで出来ること・難しいことを、かかりつけ医と相談しながら支援している。又、重度化や終末期に備え、他事業所との協力体制も準備している。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 認知症のレベル、ご本人の集団生活への適応状況等考慮し、ご家族と協議の上、別の居所への移動を行っている。又、担当者との情報交換も密に行い、支障がないようにしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) プライバシー確保のため、スタッフへの教育等をミーティング時及び必要に応じて行っている。 (外部評価) 職員の意識向上に努め、利用者のプライバシーには十分配慮した言葉かけや対応を行っている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) レクリエーションや個別対応にてご本人が希望を表せる環境作りを行っている。又、必要があればケアプランへの位置づけて対応をしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) その日の心身の状態、希望に応じて柔軟に対応している。 (外部評価) 利用者は状態に合わせて配膳、下膳の手伝い、台拭きなどを手伝い、自分の出番を楽しんでいる。また家族に手紙を書いたり、歌を歌ったりして楽しんでいる。職員も本人に合わせて柔軟に支援している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 理容院の出張サービスにて実施している。カット方等ご本人の希望も踏まえて行っているが店へ行っている利用は出来ていない。	※	今後実施すべき課題として検討していく。
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 個々の能力に応じて食事の準備・片付けを手伝っていただいている。又、食事についてはスタッフも同じテーブルで取っている。 (外部評価) 食事介助を必要とする利用者にも、側で優しくケアしながら食事を楽しんでもらうよう努めている。また、機能に応じて食後の片付けなどを進んで行う利用者もいる。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) ご本人の好みや医師の指示に応じた飲食物の提供を行っている。		
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) オムツ等の使用をしている方についてもトイレへ行っの排泄を基本とした介助、又、時間帯を考慮し排泄時の負担の軽減及び爽快感を持てるよう努めている。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 夜間欲を実施し、1日の疲労感をとり入眠を促せるようにしている。 (外部評価) 本人の希望に合わせて入浴日や時間を選び、楽しく入浴できるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 全室個室により、個々の生活習慣を保てるようにしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) ケアプランにより個々に応じた役割や気分転換が図れるように計画実行している。又、外出行事を月毎に設けてリフレッシュや社会性を保てるようにしている。 (外部評価) ホーム内での誕生会、ひな祭りなどの行事でも出番を楽しめるよう配慮している。また季節ごとに花見や果物狩り等にホームのバスで出かけた際にも、自分の出番を楽しめるよう支援している。		
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 外出行事の時に能力に応じた対応を検討している。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 時間を見つけて散歩援助を行っている。 (外部評価) 希望者がいる場合は近くの公園やホームの周辺を散歩したり、また全員でホームのバスで花見に出かけるなど遠方へ足を伸ばして外出を楽しんでいる。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 月毎に外出行事を計画している。買い物や、外食、地域行事やイベント等。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 季節の便り（暑中見舞いや年賀）を出して頂くようレクリエーション、リハビリの一環として行っている。		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 面会時間の制限は原則ない為、いつでも訪問が出来るようにしている。		
(4)安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束を行わないように取り組んでいる。現在のところ身体拘束に該当される方はいない。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 居室に鍵はなく、日中は出入り口の施錠をしている。 (外部評価) 居室、玄関共に利用者に心理的な圧迫を与えないよう、日中は施錠をしていない。職員が各人の外出傾向を把握しており、利用者に目を配りながら安全な生活が送れるよう支援している。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 定期的な安否確認を昼夜通して行っている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 認知レベルや個々の身体状況に応じて物品の管理を行っている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 年2回の防火訓練の実施及び、各種マニュアルにおいて事故の防止、緊急時の対応に努めている。		
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) マニュアルの作成や、定期的な講習を行い、緊急時に備えている。	※	新しい職員の講習がまだです。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 避難訓練を日中・夜間帯を想定して行っている。 (外部評価) 日中、夜間を想定した消火、避難訓練を消防署を交えて実施しているが、地域の人々の協力を得た訓練は実施していない。	※ ※	地域の方の協力については今後働きかけていこうと考えています。 運営推進委員会などを通して地域との連携を密にとり、地域の人たちとの協働のもと訓練を実施することが求められる。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 状況報告により日頃の状態や医療的な内容を報告している。必要に応じて事前に電話等で確認や説明をしている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 入浴時の全身チェック、睡眠状態、食事摂取量、排泄日、水分摂取量を基本に状態の把握に努め、異変がある場合は医療機関への受診等を行っている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 配薬、服薬介助については担当を決めて誤薬等がないように努めている。又、副作用や効能についても必要時に申し送り連絡ノート及び掲示物にて周知している。		
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 水分量の把握と排泄物の確認をしている。便秘については3日を目安に服薬にて排泄を促す他、牛乳等の摂取、腹部マッサージ等を行っている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 口腔ケアの必要な方についてその能力に応じた援助を行っている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 健康チェック表にて1日の摂取物の量をわかるようにしている。必要に応じて摂取しやすい物へ変更し栄養、水分が確保できるようにしている。 (外部評価) 一人ひとりの栄養摂取量を詳細に記録し、全員が一人ひとりに合った栄養摂取を行えるように支援している。また水分摂取には十分配慮した支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) マニュアルを作成し、対応の取り決めをしている。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 手指消毒の励行と冷暗所への保管を基本として実施している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 開放的な親しみやすい造りで気軽に声かけられる雰囲気作りに努めている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節毎の掲示物の貼り出しやソファの設置をしており、くつろげる場の提供を行っている。 (外部評価) 共用広間にはすがすがしい自然の風が吹き込み、窓からは四季折々の風景が楽しめる。季節によってはテラスで寛ぐこともできる。台所、浴室、トイレなどは清潔で安全である。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 共用スペースに畳やベランダがあり一人又は少人数で過ごせる環境を提供している。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 馴染みのものや写真等思い思いの品を自由に置けるよう配慮している。 (外部評価) 馴染みの物や思い出の写真などを持ち込み、仏壇を置いている部屋もあり、思い思いに落ちついて過ごせる工夫がある。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 冷暖房(床暖完備)は軽便に使用できるようにしている。又、外気の取り入れに注意し、2ヶ所以上開けて通気をよくしている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 下肢筋力の低下が見られる方には滑りにくい靴の購入や手押し車の使用を促し、転倒予防に努めている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 個々の能力に応じてわかりやすく大きな文字や絵で理解できるように工夫している。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) ベランダはベンチを設置し、いつでも利用できるようにしている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
“愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
- 「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム 久万いこいの郷

(ユニット名) ぐら

記入者(管理者)

氏名 団上 雅子

評価完了日

平成19年 7月 25日

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日頃より利用者とのコミュニケーションがとれている。各担当者は担当利用者の願いや意向をよく理解している。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	レクリエーション時のみでなく、1日を通し、職員と利用者が共にゆったりと過ごす場面がよくある。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	思い思いの場所で自分のペースで生活している。趣味も様々です。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員の支援により、利用者の表情がよくなっている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	障害レベルの高い方が多く、順次の対応になっているので、行きたいところがあっても、待っていただいたりすることがある。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	看護師の訪問や往診、その他に、変化や要望に応じての受診を行っています。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	画一的な支援にならないよう、基本的な介護を元に、各職員がその都度、利用者の要望に応じて柔軟に支援を行っている。又、その申し送りが出来ている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	①ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	各担当者が家族の要望や想いを電話連絡や文章にてよく把握している。家族の相談に乗ったり、信頼関係が出来ています。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	1 ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	元々の居住地が近隣の方は来訪者がよくいらっしゃいますが、その他の方は年に数回と少ないです。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ②少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	自治会の入会や、ホームの行事に地域の方が参加して下さったり、少しずつ増加しています。今後も自治会の運動の参加など活動を深めて行きたいです。
98	職員は、活き活きと働いている	(自己 ①ほぼ全ての職員が 評価) 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ほとんどの職員がこのホームが好きだと言ってくれています。皆が協力しながら楽しく働いています。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ①ほぼ全ての利用者が 評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	至らないところも多くありますが、職員のサービス提供に対する気持ちが伝わっているようです。しかし、障害レベルの高い方たちは、低い方たちと同じように、もっと外出をしたい等、願いがあるようです。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ①ほぼ全ての家族等が 評価) 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	日頃よりお話をさせていただいている中で、ご家族はおおむね満足されていると思います。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

会社名LCN (Live close to nature)は、自然と接して生活するの英語の略称で、久万高原町の自然を生かし、日々の生活で季節を感じ、施設の外には無農薬の畑、そして新鮮な空気、散歩も車の往来がほとんどないので、安心して散歩できるそんな好条件で入居者の皆様に安らぎを持った生活を送ってもらうことが大事だと思っています。

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 職員の思いを「いこい」の文字にちなんだ運営理念として掲げている。	※	地域に根付いたホーム作りを目指し、活動途中です。
			(外部評価) 開設当時から地域交流を大切に、利用者一人ひとりが安心して生活できるよう支援しているが、地域密着型サービスの役割について職員が十分理解しているとは言えない。	※	地域密着型サービスとして何が大切かについて職員全員で理解を深め、その役割を果たすための理念を作り上げていくことが求められる。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 運営理念を玄関に明示し、皆で取り組んでいる。		
			(外部評価) 地域との交流を大切にし、安心して楽しく生活が送れるよう、管理者、職員共に理念を共有し、その実践に努めている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 来客者にも目に止まる場所に掲げている。		
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 地域の方に畑を借り、作業を手伝っていただいている。散歩時は、気軽に挨拶や会話を楽しんでいる。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 祭りなど地域行事に参加している。又、自治会にも入会し、地域の方との交流を深めていけるように努めている。	※	今年度よりの自治会の入会なので、まだ実績はなく、今後の活動を頑張りたい。
			(外部評価) 自治会に参加し、保育園での夕涼み会や小学校での人文字作りに参加したり、また地方祭には獅子舞や御輿が立ち寄り、地域との交流を大切にしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 2ヶ月に一度の運営推進会議に民生委員、自治会長に参加を要請している。	※	全員参加が難しく、具体的な取り組みを行えていない。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 月に2回のミーティングにてホームの改善点について話し合っている。前年度の評価後もミーティングを行った。 (外部評価) 月2回の会議で、外部評価で指摘された改善点や自己評価で気付いた点を話し合い、質の向上に繋げている。自己評価は管理者が作成している。	※	自己評価は管理者、職員が協働で話し合いながら作成することが求められる。
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) ホームの活動状況等について、毎回報告し、意見をいただいている。7月の議題は「第三者評価について」です。 (外部評価) 本年は3、5、7月に会議を開催し、7月の会議では第三者評価についても話し合いが持たれ、ケア改善に向けて忌憚のない話し合いが行われている。話し合いの内容は詳細に記録されている。地域の福祉に携わっている民生委員の出席は欠かせない。	※	地域と密に連携をとって行く上での要である民生委員の出席について検討することを期待する。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 法律の事や、ホーム内でわからないことや、困ったことの相談などにも乗っていただいています。 (外部評価) 地域で開催されるケア会議に参加し、町担当者から情報を得たり、疑問点や改善点のコメントを得ている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 現在、成年後見制度を利用中の方が1名います。利用前、申請中はミーティングにて職員皆で協議していました。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) ほぼ毎回ミーティングで話し合っています。運営理念を目指した介護に取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約書の1項目ごとに丁寧な説明を行い、契約・解約時にはたつぷりと時間を使い、話し合いを行っている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 月に2回介護相談員の方が来訪し、利用者と一緒に関わって下さっています。又、利用者は職員には家族のように何でも話して下さいます。	※	入居者同士の不満を我慢している方がいらっしゃいます。現在、ケアプランにて思いを理解できるように実施中です。
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月、出納帳と状況報告書を送付しています。又、必要に応じて、電話連絡等を行っています。 (外部評価) 利用者の様子や健康状態、金銭管理の状況や職員の異動に関しては、毎月定期的な報告を家族に行っている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 不満や苦情は随時受け付けています。ご意見はミーティングで協議し、役立たせていただいています。 (外部評価) 利用者や家族の苦情、希望などは気軽に聞き取れる体制をとっており、ホーム内に相談窓口を設置しているが、第三者機関の相談窓口を明示していない。	※	相談窓口について、ホーム内だけでなく第三者機関についても書類に記載して家族にも説明しておくことが求められる。
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 管理者や運営者のみでなく、本社より職員の相談役となる者が定期的に来訪している。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 余裕を持った雇用を行い、勤務の調整に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) オープン当事からのスタッフが約半数いる。又、出来るだけ職員の離職を避けるように努力し、退職時には、利用者にはダメージのないように個々に話をしている。 (外部評価) 職員の離職・異動は少なく、その際には職員がカバーし合い、利用者には精神的な不安を与えないよう努めている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 職員研修を個々の能力に応じて行っている。 (外部評価) 職員の希望と能力に応じて研修を受ける機会を設けており、職員は希望を出せば受講できる。	※	勤務の都合により回数が十分でないかも知れない。
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 地域ケア会議や、町の行う意見交換会には積極的に参加している。 (外部評価) 毎月開催される他ホームを交えた連絡協議会には積極的に参加し、町の保健福祉会、民生委員、消防署などと意見交換を行っている。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 本社の相談係り等と連携し、出来るだけストレスを軽減できるように取り組んでいる。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 職員の能力や状況を個別に把握しており、定期的及び適時に、相談や助言を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていることを本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 事前調査時は、本人の想いを理解できるようにじっくりと時間をかけ、話をしている。又、管理者とケアマネが必要に応じて、別々に相談に乗っている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 家族とのみの相談の機会も設けている。		
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 事前調査後、職員と協議し、必要な支援について話し合っている。	※	努めてはいるが、適切な見極めが出来ていないこともある。
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 家族や本人の要望に応じた入居を行っている。又、小さな町なので、職員か入居者の中に知り合いがいるケースが多いです。 (外部評価) 開設当初から無料で体験入居の体制をとっており、ホームの生活に徐々に馴染みながら入所の決定を行っている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 花を育てたり、お酒を飲んだり、個々に、打ち解けやすい場を作っている。その時は、常に同じ視点に立つようにしている。 (外部評価) 利用者は各人の好みと能力に合わせて、食前、食後の手伝い、歯磨きの手伝いなどを担当し、職員は利用者のペースに合わせて入浴、外出などの支援に努め、利用者が楽しく過ごせるよう努めている。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 電話等で家族と話をする場合、その他の悩みや、体調の不具合の相談なども聞いている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 年賀状や手紙を送ったり、家族が遠くに住んでいる方も良好な関係を築けるように支援している。	※	生活暦の中で、家族との関係が好ましくない方に対しての対応について現在、検討中です。
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 旧友の来訪や、お手紙のやり取りを歓迎しています。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 入居者同士の良好な関係が維持できるように努めている。	※	障害レベルにより、コミュニケーションが取れ難い方について、トラブルが生じることがあり、改善したい。
32		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退所した後も、年賀状や夕涼み会の参加を呼びかけたいと思っています。	※	まだ、そのような例がないため、今後のために、取組みんでいける体制作りを行いたい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) それぞれの職員が入居者の立場に立って、相談に乗ったり、行動を読み取れるように努力している。又、個々に応じて、相談しやすい場所を提供している。 (外部評価) 職員は日頃の会話やケアの中で利用者一人ひとりの希望や思いを察知し、職員同士で話し合いながら利用者に接している。	※	介護にバラつきがあるため、新しい職員の指導をきちんと行いたい。
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 事前調査の項目では、生活暦の欄を多く取り、本人や家族から聞き取りをしている。又、日常会話の中で昔の話等を聞くようにしている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) ケアプランのアセスメントシートにて記録し、皆で把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 本人や家族の意見を考慮し、様々な意見を元にカンファレンスを行っている。 (外部評価) 事前調査票や生活歴を検討しながら、本人の状態や思いを反映させて担当者が意見交換を行い、家族の了解を得て介護計画を作成している。	※	アイデアが出ていても、いろんな方のサービスの都合等で行えていない時がある。
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 3ヶ月に1度のアセスメントを行っている。又、その時の状況に応じて、家族や連携機関と相談している。 (外部評価) 一人ひとりの生活状態を観察し、職員が話し合っ て介護計画を見直している。利用者には説明を行い、家族には電話や手紙で説明し、了解を得ている。		
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 個別のファイルに記録し、職員がいつでも見れる場所に保管している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 家族等の要望により、ホームまでの来訪の送迎や、入居者個々の希望等を柔軟に取り入れ、支援を行っている。 (外部評価) ホームのバスによる外出の機会を多く設け、職員ともども楽しい日を過ごしている。また通院や家族の来訪の希望があればその都度送迎を行っている。また外出、買い物などの希望があれば、その希望に応えている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 民生委員がボランティアで来訪し、着付けを見せる等、他機関と協力できている。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 成年後見制度利用時は、様々な方に協力していただいた。又、医療のリハビリを受けたりしている。	※	今後も連携を深めていけるように努めたい。
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 権利擁護事業について、よく学ばせていただきました。又、その他の細かい事でも相談に乗っていただいています。		
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 入居前に家族や本人と相談してかかりつけ医を付けていしている。 (外部評価) ホームの協力医療機関のほか、本人の希望するかかりつけ医の診療も受けられるよう連携をとっている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 認知症に詳しい医師がかかりつけ医であり適切な医療を受けている。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 週に一度看護師が来訪し、支援を受けている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 医療機関との連携体制が整うように努めている。	※	今までに入院した医療機関とは連携できているが、様々な医療機関との連携を確保したい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 状態の変化に応じて、その都度、家族やDrと話し合いを繰り返している。 (外部評価) 看取り介護に関する指針を作成し、学習もしているが、重度化した利用者がある場合は、他の医療機関や施設の紹介をしている。		
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) GHで出来ること・難しいことを、かかりつけ医と相談しながら支援している。又、重度化や終末期に備え、他事業所との協力体制も準備している。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 普段の生活で使用していたものを居室に持ってきていただくように話し合う等、ダメージの防止に努めている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) プライバシーの保護には普段より留意している。 (外部評価) 職員の意識向上に努め、利用者のプライバシーには十分配慮した言葉かけや対応を行っている。	※	入居者自身が他人と比べて誇りを損ねてしまうときの対応方法が職員により違いが出るので改善したい
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 常に入居者と相談しながら、支援している。認知度の高い方には自己決定を促すような声掛けを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 個々のペースに配慮しながら支援を行っている。 (外部評価) 利用者は状態に合わせて配膳、下膳の手伝い、台拭きなどを手伝い、自分の出番を楽しんでいる。また家族に手紙を書いたり、歌を歌ったりして楽しんでいる。職員も本人に合わせて柔軟に支援している。	※	緊急時には職員の都合で動いている事があるので改善方法を考えたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 外出の中に、久万高原町外で買い物ができる日を作り、本人の好みの服を購入していただいている。	※	久万高原町内には理美容店に限られており、望みに応じていない方もいた。
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 毎食を入居者と一緒に準備し、片付けを行っている。 (外部評価) 食事介助を必要とする利用者にも、側で優しくケアしながら食事を楽しんでもらうよう努めている。また、機能に応じて食後の片付けなどを進んで行う利用者もいる。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 個々の嗜好品を把握し、支援している。	※	病状と、嗜好品の兼ね合いが難しい方がおり、対応を考えたい。
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 個々の排泄パターンを把握し、無理のない声掛けや対応を行っている。オムツの方はいません。	※	排泄パターンを把握していても病状により、失敗を招くことがある。現在、検討中です。
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 時間帯は、生活暦で夜に入浴をされていた方ばかりなので、夜間に行っている。 (外部評価) 本人の希望に合わせて入浴日や時間を選び、楽しく入浴できるよう支援している。	※	順番をある程度決めてしまっている。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 消灯時間は設けているが、個々に、ある程度好きな時間に入眠していただいている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 個々の能力を活かし役割を持っていただいている。無理なく、楽しく行えるように支援している。 (外部評価) ホーム内での誕生会、ひな祭りなどの行事でも出番を楽しめるよう配慮している。また季節ごとに花見や果物狩り等にホームのバスで出かけた際にも、自分の出番を楽しめるよう支援している。		
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 希望に応じて、小額を個々に管理していただいている。	※	能力ではなく、家族の要望により、管理していただけない方がいる。
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 希望や、状況により戸外に出ています。お散歩等は日課です。 (外部評価) 希望者がいる場合は近くの公園やホームの周辺を散歩したり、また全員でホームのバスで花見に出かけるなど遠方へ足を伸ばして外出を楽しんでいる。	※	松山など、遠方に行きたい方の要望には、支援できる回数が少なく、我慢していただいていることもあります。
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 家族や友人の協力により、個別に外出されています。その場合は安全面や身体状況など、十分説明や話し合いを行っている。	※	協力が得られない方もいる。
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 各居室に電話を設置している。又、機会や希望に応じて、はがきや手紙を出している。	※	家族の希望により、電話を取り外している方がいる。


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 家族や馴染みの方が気軽に訪問できる雰囲気作りに努めている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束を行わないケアの大切さを職員に周知している。又、薬剤拘束も行わないようにDrと相談しながら配慮している。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 居室に鍵はなく、日中は出入り口の開錠をしている。 (外部評価) 居室、玄関共に利用者に心理的な圧迫を与えないよう、日中は施錠をしていない。職員が各人の外出傾向を把握しており、利用者に目を配りながら安全な生活が送れるよう支援している。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 見守りの大切さや方法を職員は熟知しており、安全の配慮を行っている。	※	職員の能力や時間帯、その他の理由により、全員の配慮が出来ていない時がある。
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 個々の能力に応じて、管理していただく物、事業所で管理するものを本人と相談しながら決定している。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) ひやり・はつとやマニュアルの作成、カンファレンスにより、事故防止に取り組んでいる。		
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) マニュアルの作成や、定期的な講習を行い、緊急時に備えている。	※	新しい職員の講習がまだです。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 避難訓練を日中・夜間帯を想定して行っている。 (外部評価) 日中、夜間を想定した消火、避難訓練を消防署を交えて実施しているが、地域の人々の協力を得た訓練は実施していない。	※	地域の方の協力については今後働きかけていこうと考えています。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 家族等に対して、リスクの説明を行っている。	※	リスクマネジメントの行い方を検討中です。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 訪問看護師等の協力の上、身体・精神状態の変化に留意しながら日々の支援を行っている。	※	職員の知識にバラつきがある。
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬担当者を決め、個々の利用者の服薬について把握できるように努めている。	※	職員の知識にバラつきがある。
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 水分量の把握と排泄物の確認をしている。便秘については3日を目処に服薬にて排泄を促す他、牛乳等の摂取、腹部マッサージ等を行っている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 個々の状態に応じ、口腔ケアを支援している。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養や水分の状況を個別に記録・把握しており、それに応じた支援を行っている。 (外部評価) 一人ひとりの栄養摂取量を詳細に記録し、全員が一人ひとりに合った栄養摂取を行えるように支援している。また水分摂取には十分配慮した支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取組みがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) マニュアルの作成を行い、予防に努めている。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) それぞれの食品や用具に応じた衛生管理を周知徹底している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) プランターの花等を置くなど親しみやすい配慮をしている。平屋でバリアフリーにしている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 家庭的な雰囲気が出せるように調度品や季節の花を置くなどの配慮をしている。 (外部評価) 共用広間にはすがすがしい自然の風が吹き込み、窓からは四季折々の風景が楽しめる。季節によってはテラスで寛ぐこともできる。台所、浴室、トイレなどは清潔で安全である。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) テーブル・ソファ・コタツ等でそれぞれ自由に過ごしていただいている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 棚等、それぞれが個人の持ち物を使用している。 (外部評価) 馴染みの物や思い出の写真などを持ち込み、仏壇を置いている部屋もあり、思い思いに落ちついて過ごせる工夫がある。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 各場所に窓と換気扇があり、換気に努めている。空調もその時々に応じた配慮を行っている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 動線に合わせた手すりの設置や、車椅子が離合できる広さの廊下等、出来るだけ自立した生活が送れるようにしている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 状態や能力に応じた声掛けを行い、混乱や失敗の軽減に努めている。	※	わかる能力と出来る能力の見極めを的確に行えるようにしたい。
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 個々のプランターや中庭の花壇、ウッドデッキのベンチなど、皆が自由に活用しています。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者の (自己 2 利用者の2/3くらい 評価) 3 利用者の1/3くらい 4 ほとんど掴んでいない	ケアプランの調査や日常会話にて利用者とのコミュニケーションがとれている。特に各担当者は担当利用者の思いをよく理解している。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある (自己 2 数日に1回程度ある 評価) 3 たまにある 4 ほとんどない	各場所、各状況で職員は入居者と個別に過ごせる時間がある。就寝前に相談にのっている場面もあります。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	思い思いの場所で自分のペースで生活している。趣味も様々です。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	①ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員と入居者が普段も支援中も、共によく笑い、楽しく生活できる環境となっています。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ②利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	徘徊の重症な方、入居以前の居住地に行きたいが遠い方には我慢をさせていただいている場面もあります。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	看護師の訪問や往診、その他に、変化や要望に応じての受診を行っています。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	①ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	画一的な支援にならないよう、基本的な介護を元に、各職員がその都度、利用者の要望に応じて柔軟に支援を行っている。又、その申し送りが出来ている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	1 ほぼ全ての家族と (自己 ②家族の2/3くらいと 評価) 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	各担当者が家族の要望や想いを電話連絡や文章にてよく把握している。しかし、連絡が取れ難い家族に対しては、密な信頼関係の構築の方法について思案中です。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	1 ほぼ毎日のように (自己 2 数日に1回程度 評価) ③たまに 4 ほとんどない	元々の居住地が近隣の方は来訪者がいらっしゃいますが、その他の方は年に数回と少ないです。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ②少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	自治会の入会や、ホームの行事に地域の方が参加して下さったり、少しずつ増加しています。今後も自治会の運動の参加など活動を深めて行きたいです。
98	職員は、活き活きと働いている	(自己 ①ほぼ全ての職員が 評価) 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ほとんどの職員がこのホームが好きだと言ってくれています。皆が協力しながら楽しく働いています。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ②ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	「ここに来て良かった」「ここが楽しい」と利用者が話されます。至らないところも多くありますが、職員のサービス提供に対する気持ちが伝わっているようです。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 1 ほぼ全ての家族等が 評価) ②家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	コミュニケーションが密に取れているご家族は満足されていると思いますが、取れていない方には説明等が十分ではないと思います。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

ホームに入居された当初は、ほとんどの方が睡眠薬や安定剤の服薬をされており、歩行状態が悪い方もいらっしゃいました。当ホームでは明るく元気に過ごしていただくこと、笑いの提供、を基本姿勢にしたサービスを目指しています。そのため薬剤拘束を出来る限り中止し、日中の活動(畑など、久万高原町の特性を活かしたレクリエーションなど)や職員との日常生活等にて安眠や精神の安定を図れるように日々、努力しています。又、現在のところ、リハビリパンツ(紙パンツ)を限度とし、オムツ使用者は0人です。